



けいちつ

啓蟄（5日）… 園庭ではどんな虫たちが目覚めるでしょうか …

この冬、雪はほとんど降りませんでした。わくわく池に氷が張ったのも2回程度でしたから、やはり暖冬だったのでしょうか。そのためか、カエルたちは啓蟄よりも半月以上早く池に姿を見せ、しばらくすると卵を産み、すでにそれもオタマジャクシになり始めています。

<菜虫化蝶 なむし ちょうとなる 3月15日~19日>

啓蟄の末候は「菜虫化蝶」です。ここで言う蝶はモンシロチョウだと思いますが、このところ、園庭ではモンキチョウ（キタキチョウ）を見掛けるようになりました。15日の朝には、いちご組の飼育ケースの中で、サナギで冬を越したアゲハチョウが見事に羽化していました！

<すごい、花まるだよ！>

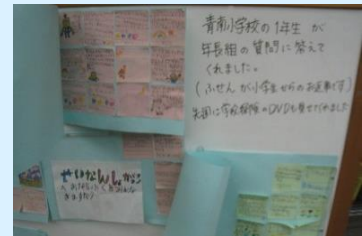
このところ、年中児は年長児に教えてもらいながら、うさぎの世話や靴箱の掃除をしていました。年長児が修了式の練習に体育館に出掛けていた日のこと。帰ってきた年長児に2階から年中児が「私たちがうさぎの世話をしたんだよ」と声を掛けました。それを聞いた年長児が、うさぎのところへ駆け行って行ったかと思うと、飛び跳ねたり拍手をしたりしながら2階の年中児に向けて「きれいになっている！」「すごい、花まるだよ！」と大喜びで応えていました。今年はすてきな引き継ぎがあちこちできていて、本当にうれしい限りです。

<お礼肥を施し、名札を付けて>

今年は、園庭の自然からたくさんの恵みと学びを得られた一年でした。しかし、それには手入れが欠かせません。剪定は大人の仕事ですが、土作りは子どもたちでもできます。おいしい実りをくれた柿やブドウに、冬の間にお礼肥を施そうと話していました。年長児から年中児にその思いを引き継ぎながら、先日ようやくその作業をすることができました。また、みんなが園庭にいる場面で、木の名札の取り換えもできました。



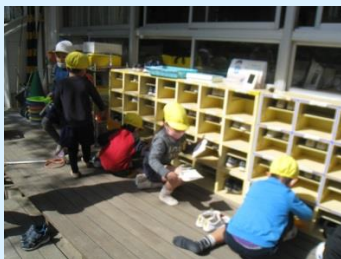
3月15日生まれのアゲハチョウ



園児からの質問に1年生から返事が



1年生による学校案内DVDを見る年長児



年長から教わった仕事をする年中児



うさぎの世話、上手にできたね花丸！



修了記念の名札をそれぞれの木に



ブドウの根元も耕してお礼肥を



青山中学校3年生が家庭科の授業で折り紙のコマを作り、校長先生と生徒会長さんが届けてくれました。お礼のメッセージは園長がお届けしました。